

# 誓 約 書

貴社(または公的機関)において生産実習・同 (S) (インターンシップ) を履修するに当たり、  
「生産実習・同 (S) に関する覚書」(裏面掲載) の内容を了解するとともに、特に「5.就業規則等の遵守」および「6.機密保持義務」を遵守することを誓約いたします。

年 月 日

日本大学生産工学部 学科

学年 年 学生番号 番 コース

フリガナ

氏名 印

( 年 月 日生 歳 男・女)

## 自己紹介書

### 【連絡先】

現住所  
〒

電話番号

携帯番号

E メール

### 【学歴・職歴】(高校卒業から記入)

年 月

年 月

### 【志望動機】

実習先として貴社(または公的機関)を志望した理由、実習に期待する経験・課題など

### 【プロフィール】

自己 PR (長所)、興味のある科目など

学業以外で力を注いだ事柄 (例：趣味・特技、免許・資格、サークル、ボランティア活動など)

### 【実習経験を通じた挑戦！】

写真 (縦 4×横 3 cm)



#### 【参考】

- 服のサイズ : XS・S・M・L・XL (上記以外のサイズ: )
- 靴のサイズ : XS・S・M・L・XL (上記以外のサイズ: )
- 帽のサイズ : XS・S・M・L・XL (上記以外のサイズ: )

実習先・本学間において下記内容による「生産実習・同 (S) (インターンシップ)に係る覚書」を交わします。実習生は内容を確認のうえ、表面の「誓約書」に署名捺印してください。

### 生産実習・同 (S) (インターンシップ)に関する覚書の内容 (条文)

実習先企業・機関 (以下「甲」という) と日本大学生産工学部 (以下「乙」という) は、実習生の受入れに関し、以下のとおり覚書を締結する。

#### (目的)

1. この生産実習・同 (S) は、教養科目、基盤科目、生産工学系科目、専門教育科目からなるカリキュラムの全体と連携し、企業や公的機関等における実習経験を通じて、幅広い知識・技能と実践技術との関係を学び取り、主体性と創造性に豊かな実践力ある工学技術者を育成することを目的とする。

#### (実習生の指定と期間)

2. 実習生は乙が指名し甲に提示するものとする。また、実習生が甲において実習する期間および日数については、甲、乙、及び実習生の三者で調整し決定する。

#### (生産実習の内容)

3. 生産実習・同 (S) の内容及び配属先 (実習場所) は、原則として甲が「(目的) 第1条」に基づいて乙及び実習生に提示する。実習場所が甲以外の場所で、宿泊を伴って実施される場合は、その詳細を乙及び実習生に提示する。また実習内容や実習場所が変更された場合は、甲は乙と学生に変更内容を提示し、了解を得るものとする。

#### (生産実習実施中及び通勤による事故等)

4. 実習生の生産実習実施中及び通勤に際しての事故等については、「学生教育研究災害傷害保険」、「学研災付帯賠償責任保険」、「生産工学部が任意に加入する学生見舞金制度」及び「日本大学学生傷害及び死亡事故等に関する給付金」をもって補償に充てる。

#### (就業規則等の遵守)

5. 乙は、実習生が、甲の就業規則を遵守するとともに実習事項遂行に当たっては甲の監督、指導、助言等に従うよう指導する。

#### (機密保持義務)

6. 乙は、実習生が実習期間中に甲で知り得た機密を、甲の承諾のない限り実習終了後も他には漏洩しないよう指導する。

#### (個人情報保護)

7. 甲及び乙は、実習生が提出する自己紹介書等の個人情報を、生産実習に関する目的以外に使用しないものとする。

#### (その他)

8. この覚書に定めのない事項及び覚書に疑義が生じた場合、甲と乙の協議の上定めるものとする。なお、実習生は、本覚書を基とした誓約書を甲に提出するものとする。

以 上